

踏 み 跡 < My mountains >

南アルプス前衛

青柳から入笠山

No. 045

ちょうど一年前になる。頂上からの北アルプス、中央アルプス、南アルプス、奥秩父、ハケ岳と連なる山々の眺め、1mを越す残雪に照りつける春の日差し……。

これらの思い出が脳裏から消えず、今年もまた四月第一週の日曜を入笠山で過ごすことになった。

昭和40年4月3日

新宿発23時45分、長野行。

昭和40年4月4日

青柳着5時38分、ハケ岳と南アルプスの眺めに目を奪われてしまう。駅からの眺めは一年前と変わらずすばらしかったが、山の積雪量が今年の半分ほどしかないように感じた。

身支度を調べてすぐに歩き始めたが、眺望に浸る時間がどうしても多くなる。

一本松6時40分、御所平峠8時05分。御所平峠から中央アルプスとハケ岳の眺めに、しばし見入った。

入笠山頂上(1955.4m)9時40分。今年も頂上で景色を眺めながら昼食と昼寝。去年は雪で見えなかったが、頂上の地肌は小さな岩くずの転がった花崗岩のような感触。一年前に腰を下ろした雪の下は、今見るとケルンがある。10時10分に出発。去年は雪が深くて行けなかった大阿原湿原へ行って見ることにして南へ歩く。

大阿原湿原(1820m)、11時05分。湿原と言えども4月ではまだまだ冬、地形の関係もあるようだが、伊那谷から吹き上げる風で長くいられるところではないので通過。六月ごろになれば花が咲き乱れるという。

時間があれば釜無山へもと思っていたが、時間的に無理なようなので取りやめ、今回はおもむきを変えて程久保山を越えた後、東側の程久保沢を下り、若宮部落に下ることにした。

程久保山(1977m)の南面で二度目の昼食、12時05分。

13時出発、程久保沢を下り、若宮の集落を抜けて富士見駅に16時15分に到着。

帰りの列車は17時14分発高尾行。もう少し早ければ新宿行に間に合ったのだが、この山へ来るとどうしても景色を楽しむ時間が長くなり、帰る時刻も遅くなりがちだ。



とにかく歩き出してから歩き終わるまで、いや列車に乗ってからもハケ岳がしつこいほどに目に入ってくる。この山はそんな山である。

以上

ハケ岳が端から端まで見える!!



中央アルプスも……
右端に木曾御岳も

(修正・更新:2023年10月)